

公益社団法人日本青年会議所 2025 年度 基本方針	
群馬ブロック協議会 会長 佐藤 俊樹	
ブロック協議会の理想の未来	一歩踏み出す勇気で群馬の未来を創造 群馬ブロック協議会においても、地域社会に新しい価値を生み出し、地域の課題に対して積極的に挑戦する原動力となります。この理念に基づく運動は、地域の未来を担う若者たちがリーダーシップを発揮し、より良い社会を築くための基盤を作ります。これにより、群馬ブロック協議会は地域の発展と持続可能な未来に向けた運動を推進し、理想を現実に変える力となっている未来を創造します。
ブロック協議会の役割	群馬ブロック協議会は、人口減少や高齢化が進む群馬県において、人財の育成や会員拡大支援、地域の魅力を調査・発掘・研究することを軸に運動をします。これにより、地域のリーダーを育てるとともに、地域資源の有効活用を促進し、地域の持続可能な発展に貢献する必要があります。
ブロック連携事業 (政策手法)	- 各地域における課題と質の高い運動の調査・発掘・研究 各地域から全体最適化が可能な質の高い事業を収集することで、地域間の連携を強化し、外部からの視点を取り入れ地域の魅力を発掘します。その魅力を地域内の各種ステークホルダーや地域間の協力により、各地で使える枠組みにして全国に広めることを目的とします。 - 地域に眠る活用しきれていない資源の調査・発掘・研究 年間を通じて、地域に眠る活用しきれていない資源を外部の視点を交えて調査発掘をします。有識者や、関係機関と連携し、経済活動として利益を生み出しつつ環境保全にも貢献する好循環モデルを研究します。 - 誇れる組織への改革に向けた運動を加速させる各種プログラムの実施・支援 JC プログラムの JCI Achieve や JCI Impact をブロック協議会主導で開催します。地域の課題を見出し、地域社会を巻き込んだ事業を行うための JCI アクションフレーム(JAF)を活用し、社会参加の概念や地域コミュニティのニーズの分析で運動構築のヒントを得ることを目的にブロック協議会と連携しながら支援を行います。 - ブロックアカデミーにおける JAYCEE 育成カリキュラムの運用 組織を活性化させるためにはメンバーが共通の価値観を持つことが不可欠ですが、現状は JC 在籍歴が短いメンバーが多く、必ずしも価値観が統一できていない状態にあります。まずは各地域に共通して適用できる育成カリキュラムを、協議会と連携して実施する必要があります。 JAYCEE 育成カリキュラムの運用支援を行い、共通の価値観を持ったリーダーたる人財を育成することで、組織を前進させることを目指します。 - 理念共感拡大グランドデザインの検証 人が自然と集まる組織をビジョンに掲げた中期計画の理念共感拡大グランドデザインが最終年度をむかえるにあたり、現状の把握と 5 年間の効果について調査する必要があります。理念浸透サーベイの実施とその分析を軸に、目標達成に向けた理念浸透率や具体的なアクションの促進状況についてブロック協議会と連携し、検証を行います。
ブロック協議会独自の事業	アカデミー、人財育成の実施 【背景】 組織の平均在籍年数が短縮傾向にあることが現状です。メンバーが短期間で卒業する中、次世代リーダーの早期育成が急務となっています。組織の持続的発展には、短期間で高い能力を発揮できる人財が必要です。 【目的】

	アカデミーを通じた集中教育や実践的なスキルの早期習得をすることでリーダーシップの形成をサポートすることを目的とします。 【手法】 次世代リーダーの早期育成を目指し、以下の施策を実施します。まず、各分野の専門家を講師に招き、集中講義やワークショップで実践的なスキルを短期間で習得を計画します。また、JC でのリーダーシップ訓練に重点を置き、プロジェクト型学習を導入して、ビジネス環境での意思決定力や問題解決力を育成します。この取り組みにより、短期間で即戦力となるリーダーの育成を推進します。
	2. LOM への会員拡大支援の実施
	【背景】 メンバーの在籍年数の短縮により、新規会員の獲得が急務となっています。多様な人財の加入は、組織に新しい視点や活力をもたらし、地域社会に対する影響力を強化します。そのため、LOM に対する会員拡大の支援を行い、一人でも多くの仲間を増やしていく必要があります。 目的 各 LOM の会員拡大目標を達成することを目的とします。 【手法】 各 LOM の会員拡大担当者との会議を実施し、会員拡大の情報共有を行う。 拡大成功事例の共有、各 LOM の情報共有を行う。
	3. 地域魅力発信の実施
	【背景】 地域活性化と住民意識の向上が挙げられます。群馬県内には豊かな自然や伝統文化、観光資源が多く存在しますが、その魅力が十分に伝わっていないと感じられる部分があります。これにより、地域の魅力を再発見し、広く発信することで、地元住民や訪問者に愛される地域づくりを目指したほうが良いと思います。 【目的】 地域の価値を再認識し、内外にその魅力を効果的に伝えることで、地域の発展と持続可能な成長を図ることです。具体的には、地域資源を活用した観光振興や地元経済の活性化を推進し、地域に対する愛着や誇りを醸成することを目指しています。また、次世代に地域の魅力や伝統を継承し、未来にわたって地域が活力を維持できるような基盤を築くことが目的です。 【手法】 地域の特色ある観光資源や伝統文化を活用したプロモーション活動が含まれます。具体的には、公式 LINE や X や instagram などデジタルメディアを通じた情報発信、地域イベントの開催、観光ガイドの整備などがあります。また、地元企業や住民との協力を通じて、特産品のブランド化や地産地消の推進も行います。さらに、地域の魅力を伝えるワークショップや教育プログラムを実施し、次世代にその価値を継承することを目指しています。
	4. 第 55 回ブロック大会の実施
	【背景】 先輩諸氏より受け継がれてきた群馬ブロック大会は、55 回目を迎えます。群馬ブロック協議会最大の発信の場となり、運動の方向性を共有しあう場です。 【目的】 群馬ブロック協議会が行う事業の意義を再確認し、仲間同士の絆を強めることを目的とします。 【手法】

	第 55 回ブロック大会の実施
	5. JC カップ U-11 少年少女サッカーブロック予選大会の企画・実施
	【背景】 JC カップは日本 JC が長きにわたり開催しています。JC カップは 11 才以下の少年少女サッカー大会で唯一、関東大会や全国大会に繋がる大会です。未来を担う子どもたちへ目標を提供する場となります。 【目的】 子どもたちの心身の発育を目的とします。 【手法】 JC カップ U-11 少年少女サッカーブロック予選大会の開催
ブロックによる LOM 支援の 実施内容	1.入会 5 年未満のアカデミー生が、JC 活動に対する楽しさややりがいを感じるアカデミー事業の実施。 2.JC 運動に邁進するために、JC とは何かを学ぶ人財育成実施。 3.拡大担当者の会議を重ね、拡大状況や拡大成功事例を共有するために情報共有会議の実施。